

(様式2)

## 学校関係者評価報告書

(愛媛県立今治南校等学校)

学校番号( 15 )

評価実施日		令和3年2月22日(月)	
委員	氏名	所属等	備考
	佐伯 由紀子	学校評議員	
	渡辺 健三	学校評議員	
	越智 理	学校評議員	
	宇高 秀志	学校評議員	
	渡部 関児	地域代表、社会教育指導員	
	土岐 正太郎	保護者代表、PTA会長	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導 電子黒板、Wi-Fi、iPadの導入によりICT機器を活用した授業の割合が増えている。今後も生徒一人一人が、明確な目的意識を持って授業に臨むことができる授業に取り組んでほしい。</p> <p>(2) 生徒指導 校訓「鍛」を意識した教育活動を今後も続けてほしい。</p> <p>(3) 特別活動 ボランティア活動等を通じての地域貢献がなされている。今後も生徒の社会性が豊かに育つよう継続して地域貢献活動を継続してもらいたい。 新型コロナウイルス感染症拡大ため部活動の活動に制限があり、大変だったと思うが、活気ある取り組みを継続してもらいたい。</p> <p>(4) 進路指導 ほぼ進路が決定しており、進路希望をほぼ実現し成果がでている。地域で活躍できる生徒の育成を研究してもらいたい</p> <p>2 重点目標について 生徒の活動を見ると、「鍛えられている」と感じる。今後も部活動、交流活動やボランティア活動を通して社会に貢献できる生徒の育成に取り組んでもらいたい。</p> <p>3 説明・公表について 「南校に来てよかった」という内部の評価は高いが、これが中学生、外部に浸透していない。もっと積極的に外部へ発信すべきである。</p> <p>4 学校運営への提言 学校経営方針のもと、確実に成果をあげている様子がうかがえる。今後も「今治南高十訓」の浸透を図り、地域に貢献できる生徒の育成に取り組んでもらいたい。</p>	<p>・ICT機器の効果的な活用方法などを研究し、授業改善に取り組む。</p> <p>・今後も、生徒・教職員が共通理解を図り、一丸となって取り組む。</p> <p>・園芸クリエイト科だけでなく、普通科の生徒も参加できるような地域交流の在り方を検討し実施する。</p> <p>・部活動を精選するとともに、活性化も図る。</p> <p>・基礎学力の定着とともに、ICT機器なども活用し、思考力などを育む指導を行う。</p> <p>・社会に貢献できる生徒の育成に今後も継続して取り組む。</p> <p>・ホームページ、YouTube等を活用し、生徒の活動の様子を積極的に紹介する。</p> <p>・生徒・教職員が共通理解を図り、校内にも掲示するなど、いろいろな場面で「今治南高十訓」を活用した学校づくりに取り組む。</p>